

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	もりもりの森			
○保護者評価実施期間	2025/2/18		～	2025/3/1
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025/2/18		～	2025/3/1
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025/3/12			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アセスメントをとり、個々の力に応じた支援ができる。お子さん・家庭・園、のすべてに対して支援ができる。早期療育ができる	月に1度の全員の支援会、課題についての検討、ABAの研修をしている	もう少し研修の頻度をあげる。職員のスキルに応じた研修
2	有資格者のみで専門的な知識を持っているものとお話をしてあげることができて支援ができています	月に1度の全員の支援会、課題についての検討、ABAの研修をしている・アセスメントに基づいた、個人に合わせた課題を設定して、スモールステップで教材を作成している	訪問での様子を共有して、事業所での支援に反映していく
3	その子の特性に応じて、防音室があるなどレッスンできる環境が整っている。個々のアセスメント、教材が多様にある 個別に応じた学習を進めて行ける、検査をとって強みを活かした学習ができる。教材もここに合ったものがあるため学習が進みやすい	余計なものは置かないのと、必要な視覚支援は行っているその子にわかるような個別の教材が用意されている。それぞれに応じた教材を作る。強化子などもつねにアップデートされている。	子どものここに応じた視覚支援を取り入れる、

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	般化に向け、遊びの中での学習PRTを行っていきたくが実施が少ない	研修する機会が少ない	来年度はDTTのスキルアップを図るため、研修をふやしたい、PRTの知識研修も合わせて行っていきたい
2	個別で行うので集団でのスキルをつけるのは難しい。机上でない場所での般化についてPECSは事業所での取り組みでは行っているが、家庭と園での般化 個々の支援に重点をおいているため、般化が苦手	個別支援の事業所の為、集団支援や般化は弱くなる	集団での支援は訪問や家庭連携で情報共有カバーしている